

令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

<b>事業名</b>	大学等の海外留学支援制度			<b>担当部局庁</b>	高等教育局	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	平成26年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	高等教育国際戦略PT	PTリーダー 渡辺 栄二			
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	-			<b>関係する 計画、通知等</b>	「日本再興戦略～JAPAN is BACK～」(平成25年6月14日閣議決定) 「第3期教育振興基本計画」(平成30年6月15日閣議決定)				
<b>主要政策・施策</b>	子ども・若者育成支援、ODA			<b>主要経費</b>	経済協力				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	我が国の高等教育機関が諸外国(地域)の高等教育機関と学生交流に関する協定等を締結し、それに基づき学生を派遣し、受入れる場合に、当該学生を支援することにより、留学生交流の一層の拡充を図り、我が国と諸外国(地域)との相互理解と友好親善を増進するとともに、我が国の高等教育機関の国際化・国際競争力強化に資する。 また、あわせて、諸外国(地域)の高等教育機関に留学する日本人学生等に対し、教育研究活動に必要な経費を支援することにより、国際的にも指導的立場で活躍できる優秀な人材の育成及び我が国の国際化・国際競争力強化に資することを目的とする。								
<b>事業概要 (5行程度以内。 別添可)</b>	海外に派遣される日本人学生及び我が国に受け入れる短期留学生に対して、(独)日本学生支援機構を通じて奨学金を支給する。 ①大学院学位取得型・学部学位取得型(1年以上) 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者で、「修士」、「修士」または「博士」の学位取得を目指し、1年以上の期間留学する者 ②協定派遣型(1年以内) 日本の高等教育機関に在籍しながら、大学間交流協定等に基づき諸外国(地域)の高等教育機関等に1年以内の期間留学する者 ③協定受入型(1年以内) 諸外国(地域)の高等教育機関に在籍しながら、大学間交流協定等に基づき我が国の高等教育機関に1年以内の期間留学する者 【補助率:定額補助】								
<b>実施方法</b>	補助								
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	<b>予算 の 状 況</b>	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	8,017	7,868	7,225	7,009	8,632		
	執行額	7,529	1,896	1,736					
	執行率(%)	94%	24%	24%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	94%	24%	24%						
<b>令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)</b>	<b>歳出予算目</b>	令和4年度当初予算	令和5年度要求	<b>主な増減理由</b>					
	留学生交流支援事業費補助金	6,497	8,051	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。					
	政府開発援助留学生交流支援事業費補助金	512	581						
	計	7,009	8,632						
<b>活動内容 (アクティビティ)</b>	海外に派遣される日本人学生及び我が国に受け入れる短期留学生に対して、(独)日本学生支援機構を通じて奨学金を支給する。								
<b>活動目標及び活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動目標</b>	<b>活動指標</b>		<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	日本人留学生及び我が国に受け入れる短期留学生への奨学支援	支援実績(派遣・受入れ) ※令和3年度の実績は、現在、調査中であり、令和5年度に確定する予定	活動実績	人	27,875	3,716	-	-	-
			当初見込み	人	25,821	25,412	22,818	21,465	21,465
<b>単位当たりコスト</b>	<b>算出根拠</b>			<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額/支援人数			単位当たりコスト	百万円	0.3	0.5	-	-
				計算式	百万円/人	7529/27,875	1896/3716	1736/22818	7009/21465

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	成果実績 目標値 達成度	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	日本人海外留学生数(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	大学等が把握している日本人学生の海外留学状況 ※令和3年度の実績は、現在、調査中であり、令和5年度に確定する予定			人	107,346	1,487	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)										
独立行政法人日本学生支援機構「協定等に基づく日本人学生留学状況調査結果」										
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	成果実績 目標値 達成度	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	我が国が受け入れる外国人留学生数(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	我が国が受け入れる外国人留学生数		人	312,214	279,597	242,444	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)										
独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」										
政策評価、 新経済・財政再生計画 との関係	政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進								
	政策評価			政策評価書 URL	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-13_1.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-13_1.pdf</a>					
	施策	13-1 国際交流の推進		該当箇所	同上					
	取組事項	分野:	-							
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:								
	該当箇所									
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の 必要性	項目			評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	諸外国との双方向の学生交流は日本の大学や学生等にとって重要なものである。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	「日本再興戦略(H25. 6)」や、「第3期教育振興基本計画(H30. 6)」における日本人海外留学生数倍増を達成するため、日本人学生の海外留学を支援するものであり、国が積極的に実施すべき事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	学生の双方向交流の推進については、「日米文化教育交流会議(カルコン)」等においてもその重要性が議論されており、優先度の高い事業である。					
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	国として責任をもって直接的・具体的な政策誘導、支援を行うため補助金として実施している。また、(独)日本学生支援機構(以下「機構」という)が、留学生交流についてのノウハウや、留学生支援等に関する豊富な実績を有していることから、機構に対する文部科学省補助金として予算措置している。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	留学生交流についてのノウハウや、留学生支援等に関する豊富な実績を有している日本学生支援機構に対して、適切に補助金を交付している。					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	適切な留学生数を支援している。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○	費目や使途は、学生に対する奨学金等に限定されている。					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	機構が実施している私費外国人留学生生活実態調査結果等を参考とし、留学に必要な経費の一部を奨学金等として学生個人に支出するものであり、真に必要な経費に限定している。					
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-							
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-							
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	各大学等に対して、留学生の派遣・受入れに係る支援を効果的・効率的に行うために、各大学等が開設した特色ある留学生の派遣・受入れプログラムを支援している。						
事業の	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	長期の海外留学が減少傾向にある中、大学間交流協定等に基づく海外留学は増加しており、当該海外留学を支援する本事業の有効性は高い。 また、大学間交流協定には、協定を締結している大学間で同人数の学生交流を行うものも含まれていることから、協定受入れについても一定数を支援しており、支援にあたっては、文部科学省がとりまとめた「世界の成長を取り込むための外国人留学生の受入れ戦略(報告書)」(H25. 12)に基づく受入れを推進している。					

有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	協定派遣・協定受入れについて、学生の質をより担保する観点から、選考基準の厳格化や家計基準の導入など制度の改善を図っている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みに見合ったものであり、留学生交流の促進につながっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	HPへの掲載やチラシの配布等による周知を着実に実施している。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	
	事業番号		事業名	
点検・改善結果	点検結果	協定派遣について、派遣先を諸外国の高等教育機関に限定せず、インターンシップや研修を目的に諸外国の政府機関やNPO等へ派遣するプログラムについても、帰国後に単位認定を行っているプログラムについては支援対象とすることによって、海外留学に関するプログラムを幅広く支援している。		
	改善の方向性	第3期教育振興基本計画に記載されているとおり、短期留学経験者の学位取得目的の長期留学への促進や、短期留学の成果を定着させるための取組みを支援するため、引き続きプログラムの採択方法や、各プログラム内における事前・事後研修の実施について検討する。		
<b>外部有識者の所見</b>				
外部有識者による点検対象外				
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>				
の事業改善部内改容	この事業は、概ね計画通りに実施されていると考えられるが、引き続き事業の成果のよりの確な把握に努めるべきである。			
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>				
執行善改	新型コロナウイルスの感染拡大による渡航制限によりR3年度が多額の不用が生じたが、R4年度以降は事業を予定通り実施見込みである。今後の日本人学生の海外留学を拡充するために、より効果的な事業の実施を図る。			
<b>備考</b>				
海外留学支援制度(学部学位取得型) : <a href="https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship/gakubu/index.html">https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship/gakubu/index.html</a> 海外留学支援制度(大学院学位取得型) : <a href="https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship/daigakuin/index.html">https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship/daigakuin/index.html</a> 海外留学支援制度(協定派遣型) : <a href="https://www.jasso.go.jp/ryugaku/tantoshu/study_a/short_term_h/index.html">https://www.jasso.go.jp/ryugaku/tantoshu/study_a/short_term_h/index.html</a>				

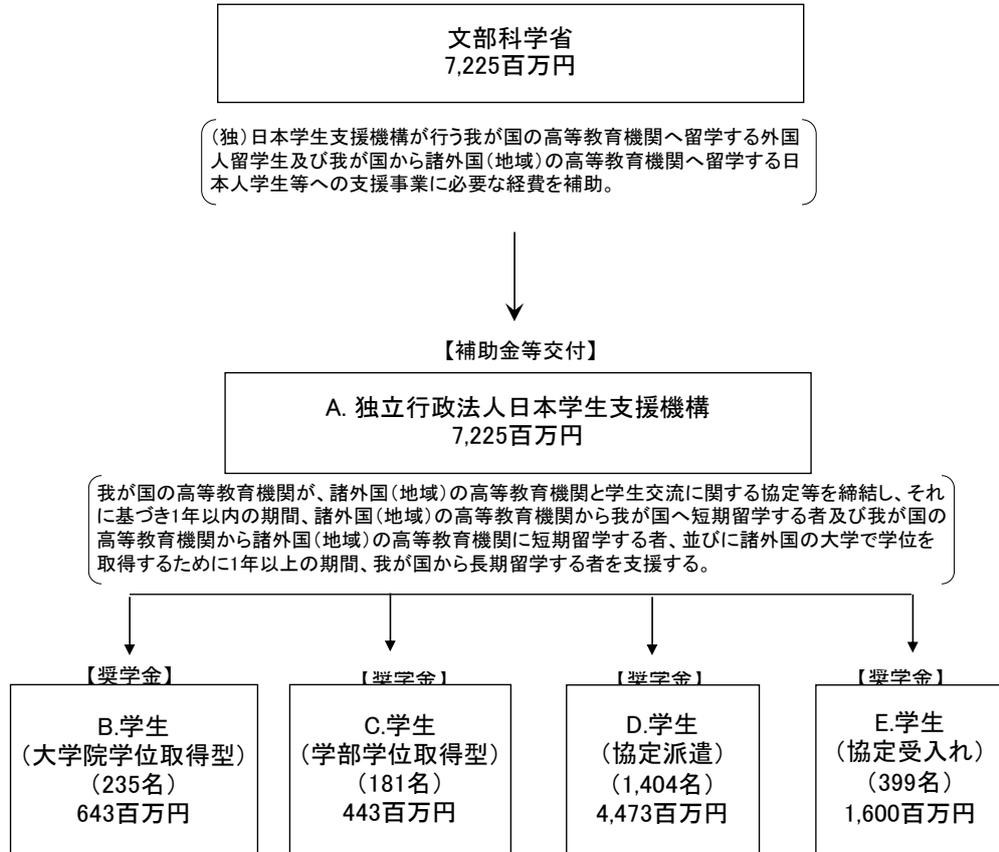
関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	175			
平成24年度	196			
平成25年度	428			
平成26年度	新26-0045			
平成27年度	423			
平成28年度	405			
平成29年度	412			
平成30年度	416			
令和元年度	文部科学省 - 0409			
令和2年度	文部科学省 0410			
令和3年度	文部科学省 0434			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)



費目・使途 <small>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)</small>	A.独立行政法人日本学生支援機構			B.学生(大学院学位取得型)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	奨学金	7,804	事業費	奨学金	4
	その他	審査経費	64			
	計		7,868	計		4
	C.学生(学部学位取得型)			D.学生(協定派遣)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	奨学金	4	事業費	奨学金	1
	計		4	計		1
	E.学生(協定受入れ)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
事業費	奨学金	1				
計		1	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人日本 学生支援機構	7020005004962	奨学金及び審査経費	7,868	補助金等交付	-	-	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	学生A	-	奨学金	4	その他	-	-	-
2	学生B	-	奨学金	4	その他	-	-	-
3	学生C	-	奨学金	4	その他	-	-	-
4	学生D	-	奨学金	4	その他	-	-	-
5	学生E	-	奨学金	4	その他	-	-	-
6	学生F	-	奨学金	4	その他	-	-	-
7	学生G	-	奨学金	4	その他	-	-	-
8	学生H	-	奨学金	4	その他	-	-	-
9	学生I	-	奨学金	4	その他	-	-	-
10	学生J	-	奨学金	4	その他	-	-	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	学生A	-	奨学金	4	その他	-	-	-
2	学生B	-	奨学金	4	その他	-	-	-
3	学生C	-	奨学金	4	その他	-	-	-
4	学生D	-	奨学金	4	その他	-	-	-
5	学生E	-	奨学金	4	その他	-	-	-
6	学生F	-	奨学金	4	その他	-	-	-
7	学生G	-	奨学金	4	その他	-	-	-
8	学生H	-	奨学金	4	その他	-	-	-
9	学生I	-	奨学金	4	その他	-	-	-
10	学生J	-	奨学金	4	その他	-	-	-

